

シンポジウム「モバイル'17」プログラム

3月9日(木) 12:00 受付開始

A 会場(41 講義室)	B 会場(44 講義室)
13:00~14:00 ICT 教育/障がい支援 古川宏(筑波大学)	13:00~14:00 情報提示/センシング 大森正子(神戸女子大学)
1111 ブロックプログラミングを用いたサウンドプログラミング入門の提案 御家 雄一(青山学院大学大学院), 伊藤 一成(青山学院大), 吉田 友敬, 長谷川 聡, 小橋 一秀(名古屋文理大学)	1211 シースルー型スマートグラスと LCD の可読性比較 小嶋 健仁, 岩田 公平, 杉浦 明弘, 宮尾 克(名古屋大学情報科学研究科)
1112 学生によるモバイル VR 映像の制作と体験イベントの実施 吉澤 亨紀, 小寺 鋼志, 加藤 瞳, 石原 志織, 中谷 俊貴, 鈴木 悠華, 長谷川 旭, 小橋 一秀, 長谷川 聡(名古屋文理大学)	1212 人体動作非接触検出技術を用いた個人固有の特徴の検出 栗田 耕一(近畿大学工学部電子情報工学科)
1113 視覚障がいのあるユーザによるスマートフォン利用時の画面内探索動作の特性に関する基礎的研究 永井 正太郎(大阪市立大学大学院), 新宅 慶騎(大阪市立大学工学部), 岡田 明(大阪市立大学)	1213 熱くてやけどしそうな食べ物を口に入れる前にシースルーHMD を用いて通知する手法 永野 公斎, 渋谷 雄(京都工芸繊維大学)

キャノピーホール (51 講義室)
14:15~15:15 特別講演 0001 司会:篠原一光(大阪大学) 『デジタルネイティブ時代の教員養成のための COPE 実践』 西端律子(畿央大学)

キャノピーホール (51 講義室)
15:30~17:30 公開シンポジウム 0002 (参加無料) 司会:石松一真(滋慶医療科学大学院大学) 『障がい支援の実践から考えるモバイル・ICT 活用』 話題提供: 小川修史(兵庫教育大学), 杉本義己(システムデザイン・ラボ), 岡耕平(滋慶医療科学大学院大学), 木暮祐一(青森公立大学) 指定討論:西端律子(畿央大学) モバイル・ICT は障がい支援領域にも浸透し、今日ではなくてはならない技術となっています。本シンポジウムでは、障がい者支援の現場を熟知する話題提供者から、現在モバイル・ICT がどのように活用されているのかを紹介していただくとともに、今後どのような研究開発・実践が必要となっていくかについて論議します。

交流会~語り合う『モバイルが拓く未来』~ ※交流会のみの参加、当日参加も可能です! 学界・産業界・利用者・学生がみなで集い、本音を語り、知恵を出し合い、モバイル社会の明日を夢見ましょう。 2017年3月9日(木) 18:00start
--

3月9日 11:30~ 平成 29 年度通常総会[31 講義室] 出席条件:事前にご案内差し上げましたモバイル学会の正会員

10:00 受付開始 **3月10日(金)**

A 会場(41 講義室)	B 会場(44 講義室)
<p>10:40~12:00 地域社会/コミュニケーション 木暮祐一(青森公立大学)</p> <p>2111 デジタルとアナログの融合による地域活性化プラットフォームモデルの開発-「ふるまちクエスト」を事例として- 藤田 美幸(新潟国際情報大学情報文化学部)</p> <p>2112 子育て情報 Web コンテンツのスマホアプリへの移行検討 下濱 悠里衣, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)</p> <p>2113 地方創生のためのバーチャル観光の検討 丹羽 ひかる, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)</p> <p>2114 機能モデルを用いた Twitter における拡散トラブルに対する教材の提案 吉田 翔(筑波大学情報科学類), 古川 宏(筑波大学システム情報系)</p>	<p>10:40~12:00 生理/作業 川野常夫(摂南大学)</p> <p>2211 単調作業の疲労に対する歩行を用いた休息による生理・心理変化 荒巻 公亮(立命館大学大学院), 萩原 啓(立命館大学情報理工学部)</p> <p>2212 脳活動時と安静時における脳波と心電図の時系列関係 中畑雄斗(立命館大学大学院), 萩原 啓(立命館大学情報理工学部)</p> <p>2213 組み立て課題における指示提示方法の違いが及ぼす影響 杉浦 明弘, 木村 瞭太, 小嶋 健仁, 宮尾 克(名古屋大学大学院情報科学研究科)</p> <p>2214 Rating Scale Mental Effort の日本語化に関する研究 大門 樹, 土屋 有加(慶應義塾大学理工学部)</p>
<p>キャノピーホール (51 講義室)</p> <p>13:30~14:30 特別講演 0003 司会:篠原一光(大阪大学)</p> <p>『情報行動調査から見たモバイル社会の現状と課題』 辻大介(大阪大学大学院人間科学研究科)</p>	
A 会場(41 講義室)	B 会場(44 講義室)
<p>14:40~16:00 機器操作 大門樹(慶應義塾大学)</p> <p>2121 ICT 機器利用時の煩わしさの構成概念の分析 篠原 一光, 藤原 厚志, 紀ノ定 保礼(大阪大学), 柿崎 勝((株)デンソー)</p> <p>2122 スマートウォッチのバンドに付けて使う極小文字入力ボードの開発 坂 香太郎(名城大学理工学研究科), 田中 敏光, 佐川 雄二(名城大学理工学部)</p> <p>2123 入力領域縮小機能を追加したタブレット向けの親指ジェスチャーによる文字入力方式 秋田光平, 田中 敏光, 佐川 雄二(名城大学理工学部)</p> <p>2124 画面の縁を使うスマートウォッチ向けの文字入力方法 尾崎 尚人, 田中 敏光, 佐川 雄二 (名城大学大学院理工学研究科)</p>	<p>14:40~16:00 地域社会/災害 長谷川聡(名古屋文理大学)</p> <p>2221 地域密着型スマートフォンに対する機能改善及び新機能の提案 川瀬 雄也, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)</p> <p>2222 企業価値向上のための復興支援活動: NTTドコモのケースより 朝原 大, 遊橋 裕泰(静岡大学情報部)</p> <p>2223 モバイルデバイスを活用した災害復興支援への社会的評価に関する一考察 平松 明香里, 遊橋裕泰(静岡大学情報学部)</p> <p>2224 災害時を想定したモバイル AR による屋内避難訓練システムの開発 三宅 達也, 里深 大祐, 福井 裕, 川野 常夫 (摂南大学理工学部)</p>